

第 18 回通常総会資料

- 1、日 時 令和 2 年 5 月 10 日(日)11 時開会
2、会 場 クラブハウス前、石段部分（屋外）
3、式次第

- ① 開会の辞
- ② 議長選出
- ③ 議 案

- 第 1 号議案 平成 31 年度事業報告 承認に関する件
- 第 2 号議案 平成 31 年度会計報告 承認に関する件
- 第 3 号議案 平成 31 年度監査報告に関する件
- 第 4 号議案 役員等変更に関する件
- 第 5 号議案 令和 2 年度事業計画 承認に関する件
- 第 6 号議案 令和 2 年度予算書 承認に関する件
- その他

- ④ 議長解任
- ⑤ 閉会の辞



特定非営利活動法人

西浜サーフライフセービングクラブ

第1号議案

平成31年度事業報告書

自：平成31年4月1日 至：令和2年3月31日

特定非営利活動法人

西浜サーフライフセービングクラブ

① 夏季海水浴場等における監視・救助活動事業（パトロール事業）

1. 季監視救助活動（西浜海岸、東浜海岸、江ノ島岩屋その他）
2. ライフガードテスト・夏季ガード顔合わせ・夏季準備の実施・症例検討会の開催
3. 各種訓練

② 水辺の各種スポーツイベントを安全面から支援し振興を図る事業（イベントパトロール事業）

1. イベント等の監視救助活動……………KLA 神奈川選手権：平塚(5月)
トライアスロン：追浜(6月)
オープンウォータースイム練習会(OCEAN NAVI)
湘南 OWS 2019 スイムツアー(8月)
JLA 南関東予選：平塚(9月)
JLA 全日本選手権：西浜(10月)
2. サーフビレッジ資器材整備・清掃
3. IRB・PWC 練習会……………毎月開催(11～3月)
4. シーバード西浜 近隣拠点との合同訓練……………毎月開催(4～6月)

③ ライフセービング活動による水辺の安全、教育事業（ジュニアユース事業）

1. 年間ジュニアユースプログラムの開催……………基本的に月2回
夏季合宿
各種ジュニアライフセーバー教室の開催(1日体験)
2. ライフセービングプログラムの開催……………未就学児、知的障害者等を対象
3. ジュニアユース保護者対象プログラム……………保護者会の開催，資格取得サポート等
4. 地域に根差した教育活動の開催……………藤沢市内の学校でのLS教室、協働事業
5. 各種大会

④ 海岸等に関する環境保全活動及び地元地域を繋げる事業（環境イベント事業）

1. ビーチクリーン・殿網清掃の開催……………毎月第2日曜日 計7回開催
2. オーシャンクリーンの開催……………2回開催(4,11月)
3. 内部イベントの開催……………通常総会・春のクラブ会(5月)
夏クラブ会の開催(8月)
秋のクラブ会：西浜CUP(10月)

4. 外部イベントの開催……………新春餅つき大会「冬のクラブ会」山本公園(1月)

⑤ ライフセービングスポーツに関する事業（スポーツ推進事業）

1. ライフセービング競技会への参加
2. 練習会及び合宿の開催……………練習会（オーシャン、ビーチ、プール）（通年）
ライフガードテスト(4月～8月)
マスターズ練習会(通年)
3. クラブ員交流イベントの開催……………西浜カップ(10月)
4. JLA ハイパフォーマンスプログラム強化指定選手エントリー

○ 特別プロジェクト「コーチ」

1. 練習会のコーチング（月4回）……………リレー選手選考会の導入
2. 国際大会報告会の開催……………三洋CUP、International Surf Rescue Challenge2019等
3. WMG2021出場に向けた準備……………マスターズ練習会の促進、定期的な情報発信
4. 西浜 SLSC 主催大会実施準備……………ロングレース、ボード選手権等

⑥ ライフセービングの資格講習会及び安全指導に関する事業（育成事業）

1. JLA Academy 資格講習会開催……………ベーシック・アドバンス・BLS・更新・WS・サポーター
2. NISHIHAMA learning の開催……………クラブ員同士の学び合い場（勉強会）

その他、管理部門〈事務局など〉

- ・ JLA・KLA 主催パトロール報告・総会への参加
- ・ JLA への役員・専門委員の派遣
- ・ 各種関連会議への参加
- ・ 地域イベントへの参加
- ・ クラブスポンサー獲得へ向けての渉外活動
- ・ スポンサーコラボ企画（ハンド・アンド・サム治療院）
- ・ クラブ内外へ向けての情報発信（HP・FB・パンフレット等）
- ・ 会員・会計・器材の管理
- ・ 理事会開催（月1回の定例会）

以　　上

貸借対照表

令和 2年 3月 31日現在

NPO法人西浜サーフライセービングクラブ

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金	160,800		
小口現金	463,649		
当座預金	3,022,553		
当座預金	0		
普通預金	2,078,935		
普通預金	7,793,197		
普通預金	8,382,818		
未収入金	340,050		
流動資産合計		22,242,002	
2.固定資産			
(1)有形固定資産			
造作	1,522,248		
船舶	1		
器具備品	155,713		
有形固定資産計	1,677,962		
固定資産合計		1,677,962	
資産合計			23,919,964
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	190,960		
預り金	11,128		
流動負債合計		202,088	

科 目	金 額		
2.固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			202,088
Ⅲ正味財産の部			
前期繰越正味財産		21,422,625	
当期正味財産増減額		2,295,251	
正味財産合計			23,717,876
負債及び正味財産合計			23,919,964

活動計算書^(注)

平成 31 年 4 月 1 日 から 令和 2 年 3 月 31 日 まで

NPO法人西浜サーフライフセービングクラブ

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員	448,000		
一般会員	1,020,000		
高校生会員	90,000	1,558,000	
2. 受取寄附金		318,000	
3. 受取助成金等		133,516	
4. 事業収益			
パトロール委員会	8,355,798		
イベントパトロール委員会	968,360		
ジュニア・ユース委員会	6,091,860		
育成委員会	884,884	16,300,902	
5. その他収益			
受取利息	154		
その他	847,020	847,174	
経常収益計			19,157,592
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	2,980,000		
福利厚生費	1,843,066		
人件費計	4,823,066		
(2)その他経費			
諸管理費	1,331,436		
物品購入費	413,993		
通信費	164,663		

科 目	金 額		
水道光熱費	6,977		
消耗品費	1,829,642		
修繕費	298,969		
公認料	45,820		
保険料	194,488		
燃料費	229,223		
租税公課	25,600		
交際接待費	90,519		
賃借料	163,937		
旅費交通費	1,894,154		
雑費	695,842		
その他経費計	7,385,263		
事業費計		12,208,329	
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	600,000		
福利厚生費	116,266		
人件費計	716,266		
(2)その他経費			
広告宣伝費	311,960		
旅費交通費	157,370		
通信費	48,532		
水道光熱費	658,359		
消耗品費	343,968		
修繕費	68,843		
保険料	117,407		
租税公課	378,300		
交際接待費	65,500		

科 目	金 額		
支払家賃	720,000		
減価償却費	447,414		
賃借料	33,264		
顧問報酬	379,200		
事務費	12,796		
登録料	89,000		
雑費	105,833		
その他経費計	3,937,746		
管理費計		4,654,012	
経常費用計			16,862,341
当期経常増減額			2,295,251
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			2,295,251
前期繰越正味財産額			21,422,625
次期繰越正味財産額			23,717,876

(注) 特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

- (1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて以下のとおり償却をしています。
建物付属設備・・・定額法、定率法
船舶・・・定率法
器具備品・・・旧定率法
- (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業費の内訳

(単位：円)

科目	パトロール委員会	イベントパトロール委員会	ジュニア・ユース委員会	育成委員会	競技委員会	環境イベント委員会	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益									
1.受取会費								1,558,000	1,558,000
2.受取寄附金								318,000	318,000
3.受取助成金等								133,516	133,516
4.事業収益	8,355,798	968,360	6,091,860	884,884			16,300,902		16,300,902
5.その他収益			361,420				361,420	485,754	847,174
経常収益計	8,355,798	968,360	6,453,280	884,884			16,662,322	2,495,270	19,157,592
II 経常費用									
(1) 人件費									
給料手当		373,000	2,172,500	372,500	62,000		2,980,000	600,000	3,580,000
福利厚生費	1,167,356	79,289	195,151	36,732	112,032	252,506	1,843,066	116,266	1,959,332
人件費計	1,167,356	452,289	2,367,651	409,232	174,032	252,506	4,823,066	716,266	5,539,332
(2) その他経費									
諸管理費	1,331,436						1,331,436		1,331,436
物品購入費	11,970		398,383		3,640		413,993		413,993
広告宣伝費								311,960	311,960
通信費	99,138	49,397	5,548	10,320	260		164,663	48,532	213,195
水道光熱費	6,977						6,977	658,359	665,336
消耗品費	856,831	442,922	434,513	27,264	25,645	42,467	1,829,642	343,968	2,173,610
修繕費	240,296	16,777	13,922	4,794	21,978	1,202	298,969	68,843	367,812
公認料				45,820			45,820		45,820
保険料	168,370		26,118				194,488	117,407	311,895
租税公課	25,600						25,600	378,300	403,900
交際接待費		77,667	2,650	10,202			90,519	65,500	156,019
科目	パトロール委員会	イベントパトロール委員会	ジュニア・ユース委員会	育成委員会	競技委員会	環境イベント委員会	事業部門計	管理部門	合計
支払家賃								720,000	720,000
減価償却費								447,414	447,414
燃料費	7,057	154,742	45,610	7,201	14,613		229,223		229,223
賃借料	72,000	52,337	39,100	500			163,937	33,264	197,201
顧問報酬								379,200	379,200
事務費								12,796	12,796
登録料								89,000	89,000
旅費交通費	251,380	67,080	1,327,628	43,250	143,316	61,500	1,894,154	157,370	2,051,524
雑費	30,193	14,925	624,493	7,349	18,616	266	695,842	105,833	801,675
その他経費計	3,101,248	875,847	2,917,965	156,700	228,068	105,435	7,385,263	3,937,746	11,323,009
経常費用計	4,268,604	1,328,136	5,285,616	565,932	402,100	357,941	12,208,329	4,654,012	16,862,341
当期経常増減額	4,087,194	△ 359,776	1,167,664	318,952	△ 402,100	△ 357,941	4,453,993	△ 2,158,742	2,295,251

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は23,717,876円ですが、そのうち2,950,000円はサーフボード購入、サーフボード輸入輸送費、周年記念事業及び2021ワールドマスターズ積立金に使用される財産です。したがって、使途が制約されていない正味財産は20,767,876円です。

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額	備考
サーフボード積立金	1,000,000	0	0	1,000,000	サーフボード購入のための積立金
サーフボード輸入輸送費積立金	400,000	0	0	400,000	サーフボード輸入輸送費積立金
周年記念事業積立金	1,200,000	200,000	0	1,400,000	周年記念事業を行うための積立金
2021ワールドマスターズ積立金	0	150,000	0	150,000	2021ワールドマスターズゲームズ積立金
合計	2,600,000	350,000	0	2,950,000	

4. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
建物付属設備	3,411,618	0	0	3,411,618	1,889,370	1,522,248
船舶	1,267,112	0	0	1,267,112	1,267,111	1
器具備品	766,850	0	0	766,850	611,137	155,713
合計	5,445,580	0	0	5,445,580	3,767,618	1,677,962

財 産 目 録

令和 2年 3月 31日

摘 要	内 訳	金 額
資 産 (流 動 資 産)		
現 金	手許残高	160,800
小 口 現 金	パトロール委員会 17,246 イベントパトロール委員会 149,110 ジュニア・ユース委員会 135,094 育成委員会 50,788 競技委員会 25,776 環境イベント委員会 85,635	463,649
当 座 預 金	日本郵政公社 3,022,553 日本郵政公社 0	3,022,553
普 通 預 金	横浜銀行 片瀬支店 2,078,935 日本郵政公社 7,793,197 横浜銀行 片瀬支店 8,382,818	18,254,950
未 収 入 金	ジュニア・ユース会費3月分 337,050 KLA IRB貸付 3,000	340,050
(流 動 資 産 計)		22,242,002
(固 定 資 産)		
造 作	シャワー室他 232,248 艇庫屋根 642,000 トイレ他防水工事 648,000	1,522,248
船 舶	IRB 船舶	1
器 具 備 品	パソコン一式 1 トレーニング機器 155,712	155,713
(固 定 資 産 計)		1,677,962
資 産 合 計		23,919,964
負 債 (流 動 負 債)		
未 払 金	給料・賃金3月分	190,960
預 り 金	源泉所得税	11,128
(流 動 負 債 計)		202,088
負 債 合 計		202,088
正 味 財 産		23,717,876

第3号議案

特定非営利活動法人 西浜サーフライフセービングクラブ
第18回 通常総会議長 殿

平成31年度会計監査報告書

平成31年度会計報告書につきまして監査した結果、
適正かつ公正に処理されておりましたので、ここに
ご報告いたします。

令和2年5月10日

特定非営利活動法人
西浜サーフライフセービングクラブ

監事 宮野 実



第 4 号議案

役員の変更について

下記左欄に記載する者の辞任を承認し、右欄に記載する者を役員に選任する。新たに選任される者の任期は、定款第 16 条の規定により、2 年間とする。

－記－

辞任役員氏名	新役員氏名
理事 植木 将人	理事 村山 貴司
理事 荒井 洋佑	
理事 神戸 友美	

新役員

役職（担当）	氏名
理事長（スポーツ推進事業兼務）	篠 岳瑠
副理事長（育成事業兼務）	石川 修平
副理事長（イベントパトロール事業兼務）	浜地 憲太郎
理事（ジュニアユース事業）	村山 貴司（新任）
理事（環境イベント事業）	伊藤 光宏
理事（パトロール事業）	河西 亮佑
監事	宮野 実

以上

第5号議案

令和2年度事業計画書

自：令和2年4月1日 至：令和3年3月31日

特定非営利活動法人

西浜サーフライフセービングクラブ

- ① 夏季海水浴場等における監視・救助活動事業（パトロール事業） 4,668,000 円
1. 夏季監視救助活動（西浜海岸、東浜海岸、江ノ島岩屋その他）
 2. ライフガードテスト・夏季ガード顔合わせ・夏季準備の実施・症例検討会の開催
 3. 各種訓練
- ② 水辺の各種スポーツイベントを安全面から支援し振興を図る事業（イベントパトロール事業） 1,105,000 円
1. イベント等の監視救助活動……………KLA 神奈川選手権：大磯(5月)
トライアスロン：追浜(6月)
オープンウォータースイム練習会(OCEANNAVI)：西浜
湘南 OWS 2020 スイムツアー：東浜(8月)
JLA 南関東予選：平塚(9月)
JLA 全日本選手権：西浜(10月)
 2. サーフビレッジ資器材整備・清掃
 3. IRB・PWC 練習会……………毎月開催(11～3月)
 4. シーバード西浜 近隣拠点との合同訓練……………毎月開催(4～6月)
- ③ ライフセービング活動による水辺の安全、教育事業（ジュニアユース事業） 7,282,500 円
1. 年間ジュニアユースプログラムの開催……………基本的に月2回
夏季合宿
各種ジュニアライフセーバー教室の開催(1日体験)
 2. ライフセービングプログラムの開催……………未就学児、知的障害者等を対象
 3. ジュニアユース保護者対象プログラム……………保護者会の開催，資格取得サポート等
 4. 各種大会
- ④ 海岸等に関する環境保全活動及び地元地域を繋げる事業（環境イベント事業） 530,000 円
1. ビーチクリーン・殿網清掃の開催……………毎月第2日曜日 計12開催
 2. オーシャンクリーンの開催……………2回開催(4,11月)
 3. 内部イベントの開催……………通常総会・春のクラブ会(4月)
夏クラブ会の開催(8月)

サンセットビーチクリーン(7,8月)

秋のクラブ会：西浜カップ(10月)

ボーリング大会・追いコン

4. 外部イベントの開催……………新春餅つき大会「冬のクラブ会」山本公園(1月)

⑤ ライフセービングスポーツに関する事業（スポーツ推進事業） **598,000 円**

1. ライフセービング競技会への参加

2. 練習会及び合宿の開催……………練習会（オーシャン、ビーチ、プール）(通年)

ライフガードテスト(4月～8月)

マスターズ練習会(通年)

3. クラブ員交流イベントの開催……………西浜カップ(10月)

4. JLA ハイパフォーマンスプログラム強化指定選手エントリー

○ 特別プロジェクト「コーチ」

1. 練習会のコーチング（月4回）……………リレー選手選考会の導入

2. 国際大会報告会の開催

3. WMG2021 出場に向けた準備……………マスターズ練習会の促進、定期的な情報発信

4. 西浜 SLSC 主催大会実施準備……………ロングレース、ボード選手権等

⑥ ライフセービングの資格講習会及び安全指導に関する事業（育成事業） **377,800 円**

1. JLA Academy 資格講習会開催……………ベーシック・BLS・更新・WS・サポーター

2. NISHIHAMA learning の開催……………クラブ員同士の学び合い場（勉強会）

その他、管理部門〈事務局など〉

- ・ JLA・KLA 主催パトロール報告・総会への参加
- ・ JLA への役員・専門委員の派遣
- ・ 各種関連会議への参加
- ・ 地域イベントへの参加
- ・ クラブスポンサー獲得へ向けての渉外活動
- ・ スポンサーコラボ企画（ハンド・アンド・サム治療院）
- ・ クラブ内外へ向けての情報発信（HP・FB・パンフレット等）
- ・ 会員・会計・器材の管理
- ・ 理事会開催（月1回の定例会）

以 上

2020 年度 パトロール委員会 活動内容

目標：0 zero ～Phase2～

➤ 4年連続の「無事故」を最終目標に設定

→過去最長の無事故を目標に設定し、委員会を中心に、一致団結してキャプテンをサポートします。

➤ 今後の西浜を背負う人材の育成

→チーフ、キャプテンを育てることに加え、組織の中で新たな役割を設けることで、組織をマネジメントできる人材を増やし、強い組織づくりを目指します。

➤ ライフガードスキルのレベルアップ

→症例検討会、勉強会、チーフ討論会を実施し、個人のレベルに応じてスキルアップできる場を設けます。

➤ 日本一のライフガード環境の構築

→過酷なライフガード環境を改善し、パトロールに集中できるように、日本一の環境整備を目指します

➤ 地域に愛されるパトロール文化の醸成

→パトロールを通して自治体や組合と協力し、地域に求められるライフガード組織を目指します

➤ 他の委員会と協力した、クラブ運営

→年間通してパトロールを軸に置きながらも、委員会同士で協力し合う事業を提案・実行していきます。

1. 夏季・片瀬西浜・東浜海岸におけるライフガード活動

場 所：片瀬東浜海水浴場、片瀬西浜・鵠沼海水浴場・江ノ島岩屋（海水浴場開設時）

参加者：クラブ員

➤ 内 容：

- ・ 海岸に訪れる老若男女、一人一人に安全で楽しい海水浴場を提供し、海浜での事故を出来る限り未然に防止する。
- ・ 藤沢市・海水浴場組合と連携を取り、より良い環境作りに努める。
- ・ 警察・消防・海上保安庁との相互理解を深め、パトロールの連携、災害時の協力体制を構築する。
- ・ 県下のLSCと連携を取り、神奈川県LS連盟を支える体制を作る。
- ・ 地域社会と相互に人材供給を行い災害時の協力体制を構築する。
- ・ 生と死を常に意識する状態の下で活動を共にすることで真の仲間（家族）を作る。

2. ライフガードテスト・夏季パトロール顔合わせ・準備

○ライフガードテスト	4月～開始予定
○症例検討会、勉強会	4月開催予定
○チーフ討論会	4～6月開催予定
○シーズン直前シミュレーション	5月開催予定
○顔合わせ	6月初旬で調整中
○夏季準備	6月の週末で実施予定
○パトロール審査会	11月参加予定

パトロールを通じて、社会人・学生・ジュニアユースを繋げる。また、年間を通して海に集まり、
ライフセービングを楽しむことができるように、各委員会と協力し合うことを意識する。

2020 年度イベントパトロール委員会 活動計画

【活動要旨】

当委員会では定着と組織強化をキーワードに、次世代に繋がる組織作りと人材育成を目指します。また、各イベント単位で中心となるメンバーを育成し、継続的に西浜メンバーが主体でイベント運営を行う。さらにイベント運営マニュアルを構築し、活躍の幅を広げる。

2020 度も継続し取り組むテーマは以下の 3 つ

- A、 イベント運営ノウハウの蓄積と継承
- B、 地域スポーツイベントの定着と拡大
- C、 各委員会との連携強化、現場パトロール力の向上

◆は実施確定 ◇は予定のイベント

A. イベント運営ノウハウの蓄積と継承

- ・全日本選手権の独自運営のための組織向上
 - ・各イベントのマニュアル構築
 - ・イベント単位でのリーダ格人材の育成
 - ・若手メンバーの参加率向上
 - ・学年別、経験値別の到達度目標設定
- <イベント予定>

- ◆KLA オープンサーフ 5/24
- ◆JLA 全日本南関東予選 9/19～20
- ◆JLA 全日本選手権 10/10～11

B. 地域スポーツイベントの定着と拡大

- 地域団体との関係の積極的深更、定着化
- 他団体からの西浜 LS 活動の引き込み
- 定期的収入の獲得
- 社会人メンバーの活動場所の提供
- パトロール以外のライフガード力の向上

<イベント予定>

- ◆2020 セーリング 7/26～8/5
- ◆追浜トライアスロン 6/14
- ◆湘南 OWS 8/30

C. 各委員会との連携強化、現場パトロール力の向上

- ・パワークラフトに対する知識/技術の向上(練習会の提供)
- ・パワークラフトステーションの定着(パトロール委員会との連携)
- ・該当分野での県内他クラブとの交流(合同訓練など)
- ・船舶免許取得の推進
- ・WARMA 受講の推進
- ・コーチシステムと連携した西浜イベントの検討
- ・シーバード西浜の運営力強化

<イベント予定>

- ◆県内クラブとの合同訓練 4 月 - 5 月
- ◆春のオーシャンクリーン 4 月下旬
- ◆秋のオーシャンクリーン 11 月下旬
- ◆IRB・PWC 定期練習 11 月 - 3 月
- ◇コーチシステム 未定

2020 年度 ジュニア・ユース委員会 活動内容

【活動目標】

- ・ライフセービング教育を通じ、水辺の安全教育普及や青少年の健全な成長を促す。
- ・ジュニア・ユースメンバーが、卒業後も様々なライフセービング活動を継続的、自主的に行えるように、活動方法などの提供をしていく。
- ・様々な人にライフセービングを通して、海の楽しさを知ってもらう。
- ・ジュニア・ユースに関わる保護者のプログラムへのサポートやクラブへの理解、協力を深める。

1、ジュニア・ユースプログラムの開催

『自分の命を自分で守れるジュニア・ユースライフセーバーを育成する』

- ・小学生から高校 3 年生を対象にジュニア・ユースプログラムを毎月第 2、4 日曜日行う。
- ・合同練習を行うなどして、他クラブと交流を図り、日本のジュニア・ユースライフセービングを盛り上げていく。
- ・子ども会、企業などを対象にジュニア・ユースライフセーバー教室 1 日体験プログラムを行う。
学校訪問も含めて、団体ごとに希望の日程、内容に合わせて行う。

2、地域に根差した教育活動の開催

『藤沢市内の子どもたちに海の楽しさを伝え、安全教育を行う。』

- ・学校訪問を行い、地域に根差した水辺の安全教育を展開する。また、心の教育や環境への意識を高める指導を行う。(藤沢市協働事業)
- ・日程：6～9 月 (予定)

3、様々な人に海の楽しさを知ってもらう

『知的障害がある子どもや幼児等を対象にライフセービングプログラムを行い、海の楽しさやライフセービング活動を知ってもらう』

- ・障害の有無に関わらず誰もが楽しむことができ、活動することができるライフセービング活動を行う。幼い時から海辺で安全に楽しく活動できる機会を作る。
- ・一般小学生や海水浴客の子どもたちを対象とした、半日ライフセービング体験プログラムを開催する。
- ・日程：8 月～3 月 (予定)

4、保護者の方も関わりやすいクラブ作り

『保護者の方々が、積極的にライフセービング活動に携わることができる機会を作る』

- ・保護者の方々にクラブの活動を理解していただき、主体的にジュニア・ユースプログラムのサポートに参加してもらえよう、保護者対象のサポーター講習会を開催する。また、子どもが卒業した後も、保護者自らが西浜のクラブ会員として組織に携わってもらえよう情報提供をする。

2020 年度 環境イベント委員会 活動内容

目的：環境保全に関する事業・催事に関する事業

- ① 私たちのホームビーチづくり～ポイ捨てのない海づくり～
 - ・ライフセーバーの存在を、お客さんにより認知してもらう活動をする（知名度向上）
→パトロールユニフォームの活用・オリジナルTシャツを活用
→SNS・映像等を活用して、広報活動を実施
- ② クラブ員がクラブ事業に参加する企画づくり
 - ・気軽に出来るビーチクリーン活動の実施
→パトロール期間中（16時ごろから）ビーチクリーンを行う
→参加して楽しめるグッズの配布（トング）
- ③ 環境問題への関心を深める
 - ・ビーチクリーン活動で拾ったゴミを追求する

1. ビーチクリーンの開催

日 時：毎月第2日曜日 9:30～11:00

場 所：片瀬西浜海水浴場ボードウォーク前砂浜

参加者：クラブ員及び一般市民

内 容：ビーチクリーンを通じ環境保全に
務め、地域社会との交流を図る

2. クラブハウス（殿網）清掃の開催

日 時：随時

場 所：クラブハウス（殿網）

参加者：クラブ員

2. 江ノ島オーシャンクリーンの開催

日 時：4月・11月第3日曜日

4/19・11/15(日曜日) 9:00～11:30

※中止の場合、翌月の第三日曜日に実施

場 所：江ノ島岩場

参加者：クラブ員及び一般市民

参加条件：ボードやカヌーなどの器材を使って
江ノ島までパドルをできる

集 合：クラブハウス（殿網前）

内 容：ゴミの吹き溜まりになりやすい江ノ島の岩
場の清掃

その他、境川・引地川などの清掃活動も計画する
予定。

※詳細は随時お知らせします。

3. 内部イベントの開催

目 的：クラブ内のコミュニケーション・交流のため
内 容：

5月 総会・「春のクラブ会」（ビレッジ）

8月 「夏のクラブ会」（殿網）

サンセットビーチクリーン

夏の納会

10月 西浜カップ「秋のクラブ会」

12月 大掃除（殿網、ビレッジ）

1月 「冬のクラブ会」（山本公園）

毎月 ビーチクリーン後 殿網清掃

その他、適宜計画予定。

※第2日曜日 委員会内でミーティングなどを実施す
る。新規イベントの企画・運営を含む。

4. 外部イベントの開催

目 的：他クラブ・地域との連携のため

内 容：

9月 西浜町町内会 地引網

1月 新春餅つき大会「冬のクラブ会」
（山本公園）

その他、適宜計画予定。

2020 年度 スポーツ推進委員会活動内容

2020 年度目標

- ・コーチングチームと連携して全日本選手権で入賞できる選手を育成し、全日本選手権の総合優勝を目指す。
- ・ライフセービングスポーツを通して、クラブ員のライフセーバーに必要な体力や技術を高め、ライフセービングの質の向上を目指す。
- ・ワールドマスターズゲームズ 2021 にマスターズ世代のクラブ員で参加し、西浜から日本のマスターズ世代を盛り上げる。

1. 競技会への選手派遣

○JLA 主催

- ・全日本プール競技選手権
5/16-17 横浜国際プール（神奈川）
- ・全日本マスターズ競技会（ビーチ）
5/30-31 海の公園（神奈川）
- ・全日本種目別選手権
6/13-14 若狭和田ビーチ（福井）
- ・全日本マスターズ競技会（サーフ）
8/29-8/30 外浦海岸（静岡）
- ・全日本選手権
9/19-20 南関東ブロック（神奈川）
10/10-11 本選 片瀬西浜海岸（神奈川）
- ・全日本マスターズ競技会（プール）
2 月中（東京都世田谷区）

○KLF 主催

- ・神奈川県選手権
5/24 大磯海岸（神奈川）
- ・神奈川県プール競技選手権
未定（神奈川）

○その他

- ・ソーリーカーニバル（湯河原）
- ・SERC（東京都）

2. 練習会の開催

- ・定期練習（毎月第 2・4 土日）
コーチングチームと連携して実施。
海でのスイム・ボード・サーフスキー、
ビーチでのラン、プールでのスイム、
SERC トレーニングなど、経験豊富なコーチ
の指導のもと実施しています。
- ・マスターズ練習会
毎月 2 回実施
ライフセービングを始めたばかりの初心者
や、社会人からライフセービングを始めた
方、ひさびさに海に入るといった方々を対象
に、海を楽しみ、ライフセーバーに必要な体
力や技術の向上、そして、ワールドマスター
ズゲームズの出場を目指します。
- ・ライフガードテスト
4 月から 8 月 月に 2 回
ラン・スイム・ボード とライフセーバーに
必要な体力・技術をテストします。
目安となるタイムを設定し、パトロールシー
ズン前に体力も技術も高めてもらいます。
また、育成委員会とも連携して取り組み、レ
スキュースキルの向上も目指します。

3. 西浜カップの開催

○西浜カップ

2020 年 10 月 25 日（毎年第 4 週の日曜日開催）片瀬西浜海岸

クラブ員の交流の場として、ジュニア、中学生、高校生、大学生そして社会人など、様々な世代のクラブ員同士、みんなが楽しめるような海岸での競技会を開催します。

4. 西浜合宿の開催

○西浜合宿

2021 年 2 月 or 3 月開催予定

クラブの核となる学生クラブ員が主体となり体力・技術・知識の向上を目的に行い、競技力向上だけでなくパトロールに繋がる内容を取り入れ合宿を開催します。

2020年度 育成委員会 活動内容

人材育成の要となりライフセーバー同士が高めあえる組織を目指す。
～ライフセーバー共育～

1. 方針

【NISHIHAMA Learning の開催】（クラブ員の学び合いの場の提供）

- ・年間を通してライフセービングの知識、技術、西浜の精神など全てのクラブ員が共に学び合える場を設ける。
- ・若いメンバーがインストラクションの楽しさを知り、インストラクター取得に繋げる。
- ・インストラクターがクラブ員に向けて指導する機会を作り学びの場を増やす。

【JLA Academy の開催】（有資格者の養成）

- ・JLA Academy 講習会を開催し、習得度が高いライフセーバー（有資格者）を養成する。
- ・アドバンスライフセーバーのカリキュラムを西浜独自で作成し、パトロールに特化した講習会にする。また誰が講習しても内容に変わらないような体制にする。アドバンスを指導できるインストラクターを育成するためインストラクター研修会も実施する。

【藤沢市共同事業へインストラクター派遣】

- ・在籍している優秀なインストラクターを藤沢市共同事業に参加してもらえるような体制を作る。

2. 活動内容

ア NISHIHAMA Learning

BLS Learning 主にビーチクリーン後や練習後の時間を利用[BLS 指導員以上、委員長が認めた者]

※目標：最後に参加者に向けてデモンストレーションを披露し、興味を持ってくれた方に個別指導できるような流れを作る。

Rescue Learning バッジテスト時やレスキュー練（パトロール委員会、スポーツ推進委員会共催）[サーフ指導員、委員長が認めた者]

保護者対象 Learning：6 月・12 月・3 月（ジュニアユース委員会と共催）

リペア Learning：12 月

その他：サポーター講習会（アクラブ等 2 回開催を目標）

イ JLA Academy

【WS 講習会】日時：4 月中予定（調整中）

【BLS 講習会】日時：4 月 19 日（ビレッジ）

【更新講習会】日時：2021 年 2 月 21 日、3 月 7 日（ビレッジ）

【ベーシックサーフライフセーバー講習会】日時：2020 年 6 月 or 9 月

以下検討中 [C 級審判員養成講習会] [IRB 講習会] [アドバンス講習会インストラクターのための研修会]

ウ 藤沢市共同事業にインストラクター派遣

教育機関に行き海と命の講習するという機会には講習しなれているインストラクターを可能な限り派遣する。誰でもできることではないので質を確保することが藤沢市の安全へと繋がる。指導してくれたインストラクターの時間を集計してクラブ内に公表していく。

3、西浜 SLSC 所属 JLA 指導員

JLA 指導員：植木将人、荒井洋佑、飯塚剛志、石川修平、泉田昌美、今井恵子、入谷拓哉、江泉嘉文、遠藤大哉、風間隆宏、神戸友美、北矢宗志、小林真以、坂入綾菜、坂本陸、篠岳瑠、園田俊高木溪太、浜地憲太郎、原伸輔、間根山花子、深山元良、井上裕梨

2019 年度 事務局 活動内容

【活動目標】：持続可能なクラブ運営の構築

- クラブ員の満足度向上・対外アピール
- 安心安全な宿舎の確保、学生支援
- 会員管理の整備
- 事務局メンバー育成、他クラブとの連携・協力

1、クラブ員の満足度向上・対外アピール

『クラブ員向けの情報発信、活動環境の改善を目指す』

- ・ 情報発信の充実：各種案内の送付、SNS・メールリストの活用、クラブ員向け HP の充実
- ・ 器材管理の充実：器材の補修・貸出・グッズ管理販売
- ・ 保険の加入
- ・ 総会・理事会：準備・運営の効率化
- ・ ボランティアポイントの拡充

『クラブのステータスアップを目指す』

- ・ 渉外の充実：契約関係・外部からの依頼対応の効率化
- ・ 外部向け広報の充実：HP 及び FB の管理、パンフレットの作成、総会資料作成、動画広報
- ・ 地元スポンサーとの連携

2、安心安全な宿舎の確保、学生支援

- ・ 女性宿舎の確保、避難器具の設置
- ・ 夏期学生食事代及び交通費支援
- ・ 施設管理、サーフボード積立、学生支援のための寄付制度継続 など

3、会員管理の整備

- ・ 名簿管理、会員カード
- ・ 会員・寄付者への情報提供
- ・ JLA-ID の連絡フォロー
など

4、事務局メンバー育成、他クラブとの連携・協力

- ・ 事務局メンバーの積極的育成、複数人での作業を目指す
- ・ 他クラブの事務局との連携・協力
など

令和2年度(令和元年度)活動予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日

特定非営利活動法人西浜サーフライフセービングクラブ

1.特定非営利活動事業に係る事業会計

科 目		備 考		
		平成31年度	令和2年度	
		予算案	予算案	前年予算比
I	収益の部			
1	会費収益	1,341,000	1,360,000	101.4%
	ア 入会金	0	0	平成29年度より入会金0円
	イ 会費(正会員)	399,000	441,000	63名
	ウ 会費(一般会員)	940,000	915,000	183名
	エ 会費(高校生会員)	2,000	4,000	ユースプログラム未登録枠
2	事業収益	16,928,341	16,195,062	95.7%
	①夏季海水浴場等における監視・救助活動事業(パトロール事業)	5,367,841	6,414,062	119.5%
	ア 夏季海水浴場における監視・救助活動・マナーアップ事業	4,370,461	5,414,062	123.9%
	イ 東浜監視船業務	997,380	997,380	
	ウ 西浜パトロールユニフォーム販売	0	1,000,000	ラッシュ8,000円×50着、パンツ6,000円×100着
	②水辺の各種スポーツイベントを安全面から支援し振興を図る事業(イベントパトロール事業)	1,245,000	1,034,000	83.1%
	ア 追浜トライアスロン	350,000	350,000	100.0%
	イ 全日本LS選手権	470,000	450,000	95.7%
	ウ 湘南オープンウォータースイム	54,000	54,000	100.0%
	エ KLA PWCレンタル費	16,000	60,000	昨年度はトライアスロン練習会サポートの収入欄
	オ ビレッジ管理	240,000	120,000	50.0%
	カ PWC練習会助成金(シーバード)	100,000	0	0.0%
	キ グライトトライアスロン(シーバード)	15,000	0	0.0%
	③ライフセービング活動による水辺の安全、教育事業(ジュニアユース事業)	7,838,000	7,746,000	98.8%
	ア 年間ジュニアプログラムの開催事業	1,955,000	1,955,000	100.0%
	イ 年間ユースプログラムの開催事業	1,791,000	1,791,000	100.0%
	ウ 低学年対象レース	180,000	50,000	
	エ ジュニア合宿	250,000	250,000	100.0%
	オ ユース合宿	864,000	900,000	104.2%
	カ ジュニア特別活動	840,000	1,260,000	150.0%
	キ ユース特別活動	1,470,000	1,470,000	100.0%
	ク 知的障害者・幼児プログラム	70,000	70,000	100.0%
	ケ 藤沢市協働事業(ジュニアLS教室)	418,000	0	0.0%
	④海岸等に関する環境保全活動及び地元地域を繋げる事業(環境イベント事業)	610,000	590,000	96.7%
	ア イベント参加費	540,000	510,000	94.4%
	イ イベント単独寄付金	70,000	80,000	114.3%
	⑤ライフセービングスポーツに関する事業(スポーツ推進事業)	50,000	0	0.0%
	ア ユニホーム販売	50,000	0	
	イ クラブ内コーチング(特別P)	0	0	
	⑥ライフセービングの資格講習会及び安全指導に関する事業(育成事業)	1,817,500	411,000	22.6%
	ア 更新講習会	220,000	90,000	40.9%
	イ BLS講習会	300,000	55,000	18.3%
	ウ IRB講習会	0	0	
	エ サポーター講習会(ジュニア保護者)	0	0	
	オ WS講習会	67,500	26,000	38.5%
	カ BASIC講習会	960,000	240,000	25.0%
	キ リーダー講習会	0	0	
	ク アドバンス講習会	270,000	0	0.0%
	ケ C級審判講習会	0	0	
3	協賛金		0	
4	助成金		0	
5	寄附金	396,000	321,000	81.1%
7	雑収益	450,000	320,000	71.1%
	ア グッツ代	200,000	200,000	100.0%
	イ 事務局使用料	0	0	
	ウ ボード・ski屋外ラック使用料	250,000	120,000	48.0%
	エ その他	0	0	
8	単年度収益合計	19,115,341	18,196,062	95.2%
9	前年度繰越金	21,000,000	23,717,876	112.9%
10	総収益合計	40,115,341	41,913,938	104.5%

	平成31年度	令和2年度		
II 費用の部	予算案	予算案	前年予算比	
1 事業費	13,548,620	14,561,300	107.5%	
①夏季海水浴場等における監視・救助活動事業（バトロール事業）	2,110,000	4,668,000	221.2%	バトロール委員会
ア.夏季海水浴場における監視・救助活動事業費	1,000,000	1,000,000	100.0%	ボランティアメンバー交通費、学生食事補助、警備費
イ.打合せ会議費（12回：バトロール、症例検討会）	240,000	320,000	133.3%	mtg.交通費12名×12回、8名×12回、8名×10回
ウ.バトロール関係器材（バックボード、ボードラック、眼鏡）	510,000	150,000	29.4%	チューブ7.5万、アクアバック2.5万、シーバー5万
エ.夏期2か月女子宿費、清掃費、+レオパレス等	360,000	360,000	100.0%	家賃2か月12万円、クリーニング費4万円、+20万円
オ.夏のクラブ会、納会費	0	180,000		
カ.バトロール関連映像撮影費、広報用	0	200,000		
キ.バトロールユニフォーム一括購入	0	2,458,000		ラッシュガード、男女別water shorts、それぞれ150着
②水辺の各種スポーツイベントを安全面から支援し振興を図る事業（イベントバトロール事業）	1,139,000	1,105,000	97.0%	イベントバトロール委員会
ア.追浜トライアスロン	277,000	270,000	97.5%	
イ.全日本LS選手権	308,000	308,000	100.0%	
ウ.PWC維持費用（シーバード登録含む）	100,000	100,000	100.0%	
エ.湘南オープンウォータースイム	32,000	32,000	100.0%	
オ.トライアスロン練習会サポート	12,000	0	0.0%	
カ.ピレージ管理	100,000	100,000	100.0%	10回実施予定
キ.交通費用、打ち合わせ会議費	255,000	255,000	100.0%	10回実施予定
ク.技術訓練費用	40,000	40,000	100.0%	ガソリン代1回4,000円×10回
ケ.ガイドトライアル	15,000			
③ライフセービング活動による水辺の安全、教育事業（ジュニアユース事業）	7,680,420	7,282,500	94.8%	ジュニアユース委員会
ア.年間ジュニアプログラムの開催事業	1,929,620	1,951,700	101.1%	人件費67.8万円、器材費11万円
イ.年間ユースプログラムの開催事業	1,751,000	1,791,000	102.3%	人件費80.1万円、器材費20.5万円、合宿積立0.7万円
ウ.低学年対象レース	147,000	45,000		保険代1万円、昨年度は一般対象体験プログラム
エ.ジュニア合宿	244,800	244,800	100.0%	バス借用なし、イントラ食事宿泊費5万円
オ.ユース合宿	851,000	869,000	102.1%	バス借用25万円×GW合宿・夏合宿の2回
カ.ジュニア特別活動	822,000	846,000	102.9%	人件費33.6万円増、器材費15万円、イントラ器材8万円
キ.ユース特別活動	1,470,000	1,470,000	100.0%	人件費114万円、器材費33万円
ク.知的障害者・幼児プログラム	65,000	65,000	100.0%	保険代2万円、Tシャツ1万円
ケ.藤沢市協働事業（ジュニアLS教室）	400,000	0	0.0%	
④海岸等に関する環境保全活動及び地元地域を繋げる事業（環境イベント事業）	900,000	530,000	58.9%	環境イベント委員会
ア.イベント事業費（飲食代、食材、消耗品費）	360,000	270,000	75.0%	春・冬のクラブ会、全日本準備
イ.クラブイベント交通費	240,000	130,000	54.2%	ビーチクリーン、オーシャンクリーン、餅つき、クラブ会、全日本、mtg.
ウ.映像撮影（外部）	200,000	0	0.0%	イベントのドローン撮影
エ.ビーチクリーン用資機材、消耗品	100,000	130,000	130.0%	トンガ、Tシャツ、ゴミ箱、飲料水等
⑤ライフセービングスポーツに関する事業（スポーツ推進事業）	648,000	598,000	92.3%	スポーツ推進委員会
ア.競技会へのスタッフ引率者交通費、器材運搬費	41,000	116,000	282.9%	staffの交通費、スキー運搬補助費今年度はナン
イ.西浜合宿経費	13,000	13,500	103.8%	引率者交通費・宿泊費
ウ.西浜カップ	50,000	50,000	100.0%	
エ.社会人練習会、全体練習会	40,000	80,000	200.0%	
オ.消耗品費、雑費	186,000	40,500	21.8%	
カ.打合せ会議費（6回）	80,000	60,000	75.0%	
キ.コーチング費用（特別P）	238,000	238,000	100.0%	競技会13回交通費8.6万円、mtg.費7.8万円、器材5万円
⑥ライフセービングの資格講習会及び安全指導に関する事業（育成事業）	1,071,200	377,800	35.3%	育成委員会
ア.更新講習会	46,000	32,000	69.6%	2回実施予定
イ.BLS講習会	77,200	27,600	35.8%	
ウ.IRB講習会	0	0		未開催予定
エ.サポーター講習会（ジュニア保護者）	39,000	6,000	15.4%	learning 3回実施予定、アクラブサポーター
オ.WS講習会	23,600	18,600	78.8%	
カ.BASIC講習会	562,200	158,600	28.2%	
キ.アドバンス講習会	198,200	0		未開催予定
ク.打合せ会議費、県外講習会補助金	120,000	130,000	108.3%	12回10名
ケ.消耗品購入	5,000	5,000	100.0%	
2 管理費	5,870,331	5,154,012	87.8%	
管理費	5,170,331	4,754,012	91.9%	
ア.物品購入費	100,000	100,000	100.0%	パソコン等
イ.事務局謝礼	600,000	600,000	100.0%	事務局員2名
ウ.福利厚生費	301,113	116,266	38.6%	会食費、イベント謝礼お茶提供
エ.広告宣伝費	110,260	311,960	282.9%	HPの更新、業者による映像撮影、編集費
オ.旅費交通費	197,500	157,370	79.7%	合宿引率、コーチング引率、外部打ち合わせ出向等
カ.通信費	48,921	48,532	99.2%	携帯電話4機、インターネット代、郵送代
キ.水道光熱費	672,926	658,359	97.8%	殿網水道光熱費月5万円、めぞん5千円
ク.消耗品費	728,851	343,968	47.2%	事務用品他
ケ.修繕費	169,386	68,843	40.6%	クラブハウス修繕等
コ.保険料	79,302	117,407	148.1%	
サ.租税公課	265,300	378,300	142.6%	所得税、法人税等
シ.交際接待費	120,660	65,500	54.3%	手土産、祝電・供花等
ス.支払家賃	720,000	720,000	100.0%	めぞん201号室（女子宿舍兼事務局）
セ.減価償却費	460,305	447,414		建物付随設備、器具備品の一部
ソ.賃借料	33,264	33,264	100.0%	ネットらびゆた
タ.顧問報酬	410,400	379,200	92.4%	税理士事務所
チ.事務費	14,784	12,796	86.6%	
ツ.登録料	65,000	89,000	136.9%	JLA第1種クラブ、KL.F正会員
テ.経費	72,359	105,833	146.3%	
その他	700,000	400,000	57.1%	
ア.グッズ代	500,000	200,000	40.0%	クラブグッズの購入、バスタオル
イ.サーフボード輸入輸送費	0	0		2018年度予算の輸送費40万円は別枠で取り置く
ウ.その他（予備費）	200,000	200,000	100.0%	
単年度費用合計	19,768,951	20,065,312	101.5%	
3 特別予算	350,000	350,000		
サーフボード積立金	0	0		5年分100万円は別枠で取り置く
周年記念事業積立金	200,000	200,000		2012年50周年party、2013年度より8年目、計160万円
2021ワールドマスターズゲームス 積立金（特別P）	150,000	150,000		2年目、計30万円
特別予算費用合計	350,000	350,000		
4 来年度繰越金	20,346,390	21,848,626		
総費用合計	40,115,341	41,913,938		
単年度収支差額	▲ 653,610	▲ 1,869,250		

特定非営利活動法人 西浜サーフライフセービングクラブ 通常総会議事録

- 1 日時 令和2年5月10日 11時から12時まで
- 2 場所 クラブハウス屋外 藤沢市片瀬海岸三丁目26番15号
- 3 正会員総数 60名
- 4 出席者の数 44名（うちリモート出席10名、表決委任者28名）
- 5 議事録署名人 荒井洋佑、伊藤光宏

6 議案

- 第1号議案 平成31年度事業報告 承認に関する件
- 第2号議案 平成31年度会計報告 承認に関する件
- 第3号議案 平成31年度監査報告に関する件
- 第4号議案 役員等変更に関する件
- 第5号議案 令和2年度事業計画 承認に関する件
- 第6号議案 令和2年度予算書 承認に関する件

7 議事の経過の概要及び議決の結果

- 第1号議案 平成31年度事業報告 承認に関する件
平成31年度事業報告を諮ったところ、満場異議なく承認された。
- 第2号議案 平成31年度会計報告 承認に関する件
平成31年度会計報告を諮ったところ、満場異議なく承認された。
- 第3号議案 平成31年度監査報告に関する件
平成31年度監査報告を諮ったところ、満場異議なく承認された。
- 第4号議案 役員等変更に関する件
役員等変更を諮ったところ、満場異議なく承認された。
- 第5号議案 令和2年度事業計画 承認に関する件
令和2年度事業計画を諮ったところ、満場異議なく承認された。
- 第6号議案 令和2年度予算書 承認に関する件
令和2年度予算書を諮ったところ、単年度赤字予算について承認された。

令和2年5月10日

特定非営利活動法人 西浜サーフライフセービングクラブ 通常総会において

議長 篠 岳瑠



議事録署名人 荒井 洋佑



議事録署名人 伊藤 光宏



2020 年 5 月 16 日

2019 年度第 18 回通常総会結果報告

特定非営利活動法人
西浜サーフライフセービングクラブ
理事長 篠 岳瑠

拝啓 初夏の頃、クラブ会員の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素より当クラブ事業に格別のご理解とお力添えをいただき、厚く御礼を申し上げます。

5 月 10 日（日）にサーフビレッジにて通常総会を開催いたしました。正会員 60 名（2020 年 3 月 31 日現在）のうち、出席者 16 名（リモート出席 10 名含む）、委任状 28 名 計 44 名となり、定款第 27 条、定足数の条件である、正会員半数を満たしましたので成立となりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮し、屋外で一定の距離をおいて実施。出席者の半数以上は WEB 会議ツールを使ってのリモート出席でした。

その場におきまして、第 1 号から第 6 号議案に承認をいただきました。また、平成 31 年度会計について適正かつ公正に処理されているとの監事報告がございましたので、ここに報告をいたします。

敬具

記

本通常総会における主な変更点は以下のとおりです。

1、役員の一部変更

役員体制についてですが、理事 植木将人（育成）、理事 荒井 洋佑（スポーツ）、理事 神戸友美（ジュニアユース）が任期を持って辞任となり、新たに村山貴司（ジュニアユース）が選出されました。

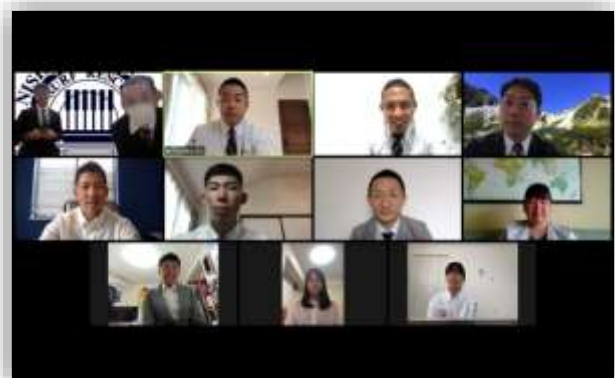
2、活動予算案について

単年度で赤字予算が承認されました。前年度との主な変更点として、パトロールユニフォームの在庫を 150 着持ちます。JLA 日本ライフセービング協会で指定されていますパトロールユニフォームの上衣を維持しつつ、下衣については「擦れ防止」の観点から新たなクラブサーフパンツを作成しました。パトロールする砂浜が横に広く、必然的に走り回る距離が伸びます。現場からの要望に応え 2020 年度より導入するものです。ラッシュガードも更新となります。他に、大きな予算内容の変更はありません。

以上



「新型コロナの影響で屋外での総会開催」



「リモート出席」

【退任理事挨拶】

植木 将人（育成委員会 理事）

先日の総会の承認をもちまして、西浜 SLSG の理事を退任することとなりました。気づけば私は 2005 年から競技委員長として 5 年、理事として競技委員会担当 6 年、育成委員会担当 4 年の計 15 年もクラブ運営に携わらせて頂いたようです。今思えば、25 歳くらいの生意気な最年少の委員長だったことを思い出します。先輩理事の西浜に対する熱い想いを目の当たりにし、まさに修行の日々だったことを今も鮮明に記憶しています。



2010 年からは理事という立場で、担当委員会のみならずクラブ全体、クラブ員一人ひとりを思い浮かべクラブ運営に携わるようになりました。日本のライフセービングに於いての西浜の歴史と西浜が歩むべき道、あるべき姿とは。そんな自分で掲げたテーマに自問自答しながら、月 1 回の理事会に出席し、生涯現役としての西浜人としての姿を見せたいとも思い歩んできたつもりです。まだまだ諸先輩方に比べたらその差は歴然。当時（入会の 2002 年）と何ら変わりはありません。やはり西浜は「修行の場」という言葉に尽きます。

役員として 15 年が経ちましたが、今や当時ジュニアだった子ども達がパトロールキャプテンや、委員長として理事会に参加しクラブ運営に携わる姿に考え深いものがあります。そんな姿を見るからこそ、安心して退任の決意に至りました。どうぞ、これからも変わらず、未来ある西浜を作っていって欲しいと思います。改めて、先輩方も含め全クラブ員の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました！これからも皆様と共に西浜の人間として頑張っていきます。ありがとうございました。

荒井 洋佑（スポーツ推進委員会 理事）

2008 年から西浜のクラブ員となり、2014 年から 6 年間スポーツ推進委員会の理事を務めさせていただきました。2012 年から 2015 年まで、委員長として 2 回、理事就任してから 2 回、委員会の最大の目標である全日本選手権のチーム総合優勝に向けてクラブ員全員で努力して、総合 4 連覇を達成することができ、その感動をクラブの皆さんと分かち合うことができたことがとても印象に残っています。

理事を退任しても、西浜のクラブ員として引き続きライフセービング活動を継続していきますので、これからもよろしくお願いします。

神戸 友美（ジュニアユース委員会 理事）

先日のクラブ総会で、5 年間務めさせていただいた理事を終えることになりました。本当に多くの方々に支えてもらい、ここまで行えることができました。ありがとうございました。

大学でライフセービングを始め、そしてハマリ、そして学生のと時から興味があつたジュニアユースプログラムに携われる機会を西浜の先輩方にいただき、社会人になってから西浜に移動してきました。その頃にまさか数年後に私が理事を務めるなんか全く思ってもいませんでした。理事になってからの 5 年間は、あっという間で、ただただ自分の目標に向かって真っ直ぐに、全力で取り組む日々でした。なので、今は悔いなく、最後まで逃げ出さずやり切れた達成感で



いっぱいです。大好きなジュニアプログラムに出会えて、そして、大好きな仲間も出会えて、私は西浜に来てよかったです。

理事は終わりますが、これで引退ではなく、まだまだ自分にできるライフセービング活動をゆっくりと続けていこうと思います。今後も、水辺の安全教育、プログラムやライフセービングの発展に向けて委員会のインストラクター、子ども達、保護者の方々と一緒に力を発揮していきたいと思っています。



【新任理事挨拶】

村山 貴司（ジュニアユース委員会 新理事）

ジュニアユース担当理事になりました、村山貴司です。ジュニアユースの活動に携わらせてもらい13年が経ちます。子どもたちと接する中で、私自身、大切にしていることがあります。それは、子どもたちが過ごす今を、いつか咲かす大輪の花のための水やりの時期だと思っています。地道に根を張り、花を支える健全な茎を作ってあげたいです。

海は、楽しみ方を知って、体験して、時には失敗もして、どうやればうまく行くのかを考えてみる。再度チャレンジして、できたときの達成感や成就感をダイレクトに実感してもらえらる環境だと思っています。そんな海を活動の場とするライフセービングは、それぞれの個性を敬愛しながら互いに切磋琢磨していきます。環境保全を含め、全体への博愛の精神を大切にしながら活動できることが素晴らしいと考えています。その個性を光らせてきたユースメンバーや卒業生たちが、今でも継続してパトロールに参加するようになり、真夏の浜に堂々と立っている姿や、大会に出場して楽しんでいる様子を見たりすると感慨深いものを感じます。

ジュニアユース委員会の活動は、クラブの未来を育てていると考えます。将来は、西浜 SLSC を牽引していったり、日本代表チーム「植木 Japan」に選出されるメンバーを多く輩出したいと思っています。また、ライフセービングだけでなく、海の様々なアクティビティを体験する中で、自分の命の守り方を知っている人や、困っている人に手を差し伸べられる人を育てたいと考えています。

そんな、子ども達が個々の色を持った、大輪の花を咲かすことができる環境を理事として整えていきたいです。これから、よろしくお願いします。



・橋本 敦（はしもと あつし）

- ・社会人からライフセービングを始められ、今では無事故には欠かせないメンバーとなっている。
- ・また、大学生のサポートや委員会内での役割は年々大きくなっている。
- ・他の社会人を巻き込んでクラブを盛り上げてくれている。

パトロール委員会



・井上裕梨（いのうえ ゆり）

- ・年間を通して委員会の運営を献身的に行い、各イベント事業の実施内容と結果を細かく書き留めることでノウハウを蓄積し、次世代の育成に繋がる役割を果たした。
- ・船舶免許取得の推進など、各委員会を横断した活動を行いクラブの発展に寄与した。

イベントパトロール委員会



・村山貴司（むらやまたかし）

- ・長年ジュニアユース委員会を引っ張り、子どもたちに誰よりも海の楽しさを伝えてくれている。
- ・委員会のメンバーが、どうしたら主体的に活動できるか、自分にできることを発揮してもらえるかを考え、委員長として活動をしている。

ジュニアユース委員会



・易 礼美（えき れみ）

- ・育成委員会の裏方として、育成委員会の活動は経理に関わる活動が多くあり、その仕事を1年間欠かさず確実に行ってくれた。
- ・委員会スタッフが講習に専念できたのも、彼女の経理面でのサポートが大きく、安心して講習会を運営することができた。

育成委員会



・小田切伸矢（おだぎりしんや）

- ・ビーチが得意な競技者であるが、全日本マスターズのビーチ・オーシャン・プールの全カテゴリーの競技会に出場。
- ・苦手な種目にもチームのためにと全力でレースし、ビーチ、オーシャンそれぞれのカテゴリーでの西浜総合優勝に大きく貢献した。

スポーツ推進委員会



・宮崎あずさ（みやざきあずさ）

- ・学生時代から、そして社会人になっても静岡から西浜に足を運び活動が続けている。先輩・後輩隔てなく話を聞き、サポートに徹してくれた。ビーチクリーンで活用するユニフォームを作成し、環境イベントを通してライフセービングの普及に尽力した。

環境イベント



・和田桂子（わだけいこ）

- ・2019年度より会員管理を担当。ご自身の本業や他ボランティアスタッフの経験を活かされ、事務局全体の事務遂行能力が格段にアップした。
- ・若者からベテランまで、温和な雰囲気に対応し、仕事はキッチリ。西浜事務局の安定にこの人あり。

事務局



・【ジュニア】小鮒聖斗（こぶな らいと）

- ・ 5年生までは、他人よりも自分。という印象が多く見られたが、6年生になってからは、最上級生として、4年生に「こうしておくといいよ。」など、アドバイスする光景が見られた。
- ・ 自分自身に必要なことを考えて、ユースの練習に参加し、強度の高い練習にもついていく精神面も身につけることができた。大会時には、自分のレースに集中するだけでなく、下の学年の子たちにも積極的に声をかけて、チームが1つになる原動力の一部分になった。
- ・ 全日本ジュニア選手権ボードレースで優勝を達成したあとに、自然と彼の周りに子どもだけでなく大人も集まり、讃える光景は、聖斗が今まで努力し続け、周りの人たちへの思いやりがあったから、生まれた光景だった。

ジュニアオブザイヤー



・【ユース】石田宙（いしだ そら）

- ・ 自身が学んできた事を今度は自分がユースメンバーに伝えていく番だという意識が芽生え、実践してくれていた。
- ・ これからのチームは自分が引っ張っていくという自覚を持ちチームのまとめ役を担い、モチベーションが上がるよう声をかけまとめてくれていた。

ユースオブザイヤー



2019年度に寄付をいただいた皆様

昨年度、西浜SLSCに寄付をいただいた皆様にクラブ員一同で感謝の意を表したく、お名前を掲載させていただきます。

複数口の寄付をいただいた方

伊東 秀崇 様
石田 秀樹 様
篠原 航 様

小峯 力 様
志賀 孝一 様

上野 義洋 様
土志田 仁 様

寄付をいただいた方

相澤 重男 様
相澤 庄太 様
相澤 千春 様
青木 優一郎 様
青柳 真人 様
秋岡 伸一 様
荒井 閑 様
荒井 洋佑 様
池戸 智美 様
石井 尚之 様
石川 修平 様
伊藤 健太郎 様
伊藤 紀子 様
稲葉 博久 様
井原 洋平 様
入谷 拓哉 様
植木 将人 様
上野 凌 様
江頭 祐一 様
易 礼美 様
大谷 健将 様
小川 登 様
小倉 浩満 様
小澤 知 様
小田 丈勸 様

小田切 伸矢 様
風間 隆宏 様
片平 悠理亜 ミッサ 様
門井 洋介 様
加藤 ミッシェル 実香 様
河西 亮佑 様
菅野 豪 様
北矢 宗志 様
倉橋 沙織 様
後関 裕輔 様
齋藤 明宏 様
齋藤 千恵 様
坂本 千佳子 様
坂本 靖 様
佐久間 優衣 様
佐藤 美智代 様
澤田 喜生 様
篠 郁蘭 様
篠 岳瑠 様
篠原 正貴 様
城間 盛隆 様
高橋 尚吾 様
武田 昭仁 様
田勢 美貴 様
天川 仁 様

中島 章 様
南部 孝二 様
西嶋 大 様
萩原 隆次郎 様
橋本 淳太郎 様
橋本 有加 様
服部 洋平 様
浜地 憲太郎 様
早川 慶太郎 様
原 絲子 様
廣江 史子 様
寶槻 圭洋 様
堀口 敬洋 様
本郷 多久也 様
三浦 秀樹 様
見角 麻理子 様
宮野 実 様
深山 元良 様
村川 新 様
村山 貴司 様
八島 一郎 様
山崎 洋 様
山本 准三 様
吉本 翔 様

昨年度の寄付使用実績

昨年度は81名の皆様より「321,000円」の寄付をいただきました。そのご厚志の使用実績としまして、

- ・夏パトロール学生食事補助 182,854円
- ・サーフボード新艇の積立金 200,000円
- ・クラブハウス維持管理 218,097円

合計「600,951円」の一部として使用しました。

寄付制度の目的

①夏のパトロールにおける学生食事補助

7月末より学生が泊まり込む際の、自炊する食材費に使っています。



②サーフボード等の維持管理

1996年に中古艇を購入して20年以上経過。新艇購入に向けて毎年20万円の積立をしています。



②クラブハウスの維持管理

2018年度に室内の改装をしました。普段は、艇庫のある外回りが主な作業。砂と潮との闘いです。

昨年度は、高圧洗浄機を導入しました。



④ジュニアユースプログラムのシャワー等の水道光熱費 **new!**

今年度より、ジュニアユースプログラムの一部にも使用していきます。子供たちはクラブの宝です。

